

保健担当 横井 祥奈 養護教諭 の紹介

子どもの心と体をつなぐ専門性と思いやり

本校に赴任して、6年目を迎えた横井祥奈養護教諭は、日々児童に寄り添いながら、その成長を丁寧に見守り続けてきました。児童一人一人の表情や変化を大切に受け止め、長い時間をかけて関わってきたからこそ見えてくる姿を的確に捉え、温かく支援している姿に、大きな信頼と安心感を抱いています。

保健室は、けがや体調不良の対応だけでなく、児童がほっと心を休めることができる大切な場所でもあります。横井養護教諭は、児童の素直さや豊かな想像力にしっかりと向き合い、そのよさを受け止めながら関係を築いており、子どもたちは安心して心身をゆだねることができています。その姿勢は、まさに本校の子どもたちの健やかな育ちを支える大きな柱となっています。



また、本校の教職員や関係機関との連携を大切にしながら、児童の実態に合わせた保健活動を積極的に推進している点も、大きな強みです。今年度は特に、歯と口の健康に焦点を当て、児童が自ら健康を意識し、主体的に行動できるような工夫ある取り組みを進めています。小規模校ならではの機動力と温かな連携を生かし、全校で子どもたちの健康づくりに取り組んでいることは、本校の誇りでもあります。

児童の笑顔と健やかな成長を支える保健室経営に、日々真摯に向き合う横井養護教諭の姿に、私自身も深い敬意と感謝の気持ちを抱いています。これからも、子どもたちにとって安心できる存在として、その専門性と温かな人柄を存分に発揮していただけること、とても頼りにしています。